

環境マネジメント

日本ケミコン環境基本方針(概要)

- 地球環境保全活動推進のため、全社的に活動できる組織の整備と運用。
- 環境目標の設定と、パフォーマンス向上及びEMSの継続的な改善。
- 生物多様性への配慮。
- 環境関連の法律、規制、協定及び自主基準などの遵守。
- 省エネルギー活動、化学物質の適正管理、資源の有効利用と廃棄物削減への取り組み。
- 環境負荷の少ない製品の開発、設計、上市の推進。
- 従業員全員への環境教育の推進。
- 環境に影響を及ぼすリスクの発生予防と、気候変動リスクを最小限にする管理体制の確立維持。
- 環境管理活動の積極的な情報開示と、地域、利害関係者とのコミュニケーション推進。

法規制の遵守及び重大事故発生状況について

日本ケミコングループでは、環境法に対応し、規制項目によっては、より厳しい自主基準値を設定し管理しており、法的基準を遵守しています。

また、環境に影響を及ぼす事故は発生していません。

<活動実績>

年度別CO₂総排出量の内訳

単位：t-CO₂

年度	2013	2014	2015	2016	2017
電力	471,148	483,070	475,603	489,601	518,243
A重油	21,593	23,921	23,446	27,127	29,378
灯油	1,551	1,489	1,507	1,581	1,799
都市ガス	23,249	23,449	22,295	17,587	18,463
ガソリン	361	351	325	310	304
LPG	343	340	308	304	366
LNG	490	382	510	0	0
軽油	79	106	155	65	233
産業蒸気	2,532	2,557	2,465	2,430	2,561
廃棄物(油、廃プラ)	0	0	0	0	0
廃棄物(紙、木くず等)	0	0	0	0	0
合計	521,346	535,665	526,614	539,005	571,347

(注) 1. 海外事業所で使用する電力・CO₂換算係数を、2014年度から見直しました。

2. 電力CO₂排出量は電気事業連合会公表の排出係数(調整後排出係数)を用いて算出しました。

環境活動

省エネ



日本ケミコングループでは、2013年度よりスタートした電機・電子業界の低炭素社会実行計画に基づき、原単位改善率年1%以上を目標とし、当社グループのエネルギー担当者で組織した省エネルギーワーキンググループを中心に活動を推進しています。

<中期目標>

電機・電子業界で推進する「低炭素社会実行計画」を踏まえ、

2020年に向けて エネルギー原単位改善率

年平均 **1** %以上を目標とする

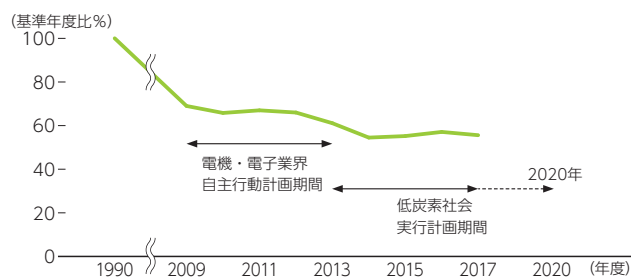
<長期目標>

電機・電子業界共通目標を踏まえ、

2030年に向けて エネルギー原単位改善率

年平均 **1** %以上を目標とする

CO₂排出量の生産高原単位推移(国内事業所)



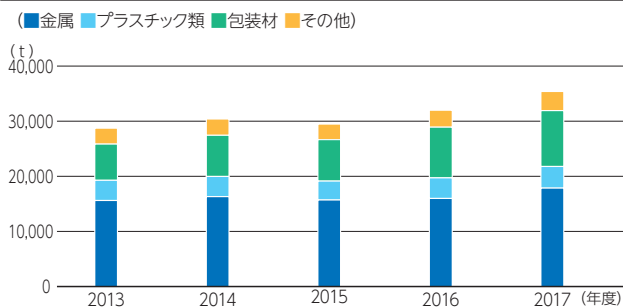
省資源



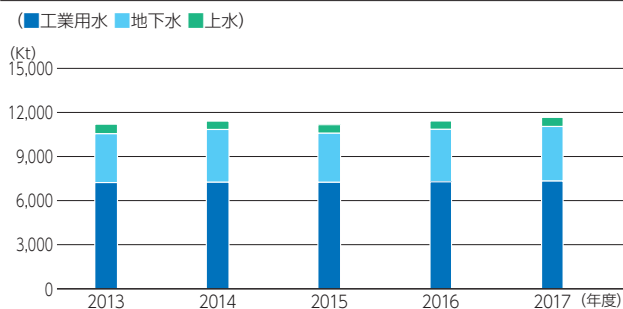
企業の生産活動において資源は必要不可欠なものであり、限りある資源を効率よく使用することは、地球環境の保全や生態系の保護などの観点で最も重要なことです。

日本ケミコングループでは「3R」リデュース(廃棄物等の発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)や生産プロセスの改善により、資源の有効利用を促進しています。

資源使用量推移



水使用量推移



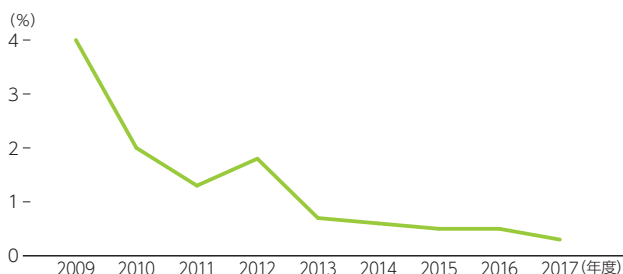
廃棄物削減



日本ケミコングループは産業廃棄物の発生量を削減する活動を推進することで、資源循環及び最終埋立て処分量の削減に取り組んでいます。

私たちは更に3Rを推進し、資源の有効利用・資源循環に取り組み、廃棄物の削減、最終処分量の改善に努めます。

廃棄物最終処分量の推移(国内事業所)



生物多様性保全活動



日本ケミコングループでは、事業活動による生物多様性への影響を考慮し、三つの柱(活動)をイメージした取り組みを実施しています。

- ①【原材料の調達による影響】サプライヤ様と連携し、生物多様性に関する理解を深めながら相互協力により進めています。
- ②【ものづくりによる生態系への影響】製品の生産において使用するエネルギーや資源、それにより発生するCO₂や排水など、当社グループの生産活動が直接影響を与える部分であり、継続的な活動を進めています。
- ③【事業所用地の利用に起因した影響】構内緑地の確保や社会貢献活動を進め、地域環境や周辺生態系に配慮しています。

生物多様性は私達に欠くことのできない大切な「めぐみ」(生態系サービス)をもたらしています。当社グループは、各事業所が工夫をして地道でも継続性のある、そのような活動を今後も展開していきます。



◀日本ケミコン株式会社 新潟工場
敷地内の樹木に、野鳥保護を目的として設置した巣箱に今年も「来訪者」がやって来ました。

ケミコン岩手株式会社▶
毎年、敷地周辺に存在する湧水「すず」の水質分析を行い、周辺環境の経年変化を調べています。



◀ケミコン福島株式会社 喜多方工場
環境省準絶滅危惧種である「ヒメサユリ」の保護を目的として、構内に花壇を設置し育成しています。



●詳細な環境データは、日本ケミコンホームページの下記サイトでご確認ください。

<http://www.chemi-con.co.jp/env/index.html>